



《 国産大豆 》

落札率56%、スズマル引き続き高値

6月に2回実施された19年産国産大豆の入札取引結果は、日本特産農産物協会の発表によりますと、上場数は12,455トンで、落札が6,987トン、落札率が56.1%、平均落札価格は、前月比60kg/609円ダウンという結果となりました。先月よりは、値下がりしたものの、18年産と比較すると落札率、平均落札価格とも引き続き高い値で推移している状況です。(前年6月の落札率は26.3%、前年6月の平均落札価格より60kg/791円高値)

先月より値下がりしたものの、北海道の小粒スズマルは、60kg/23,212円と相変わらず高く、長野の大粒ナカセンナリも8,970円と高値で推移しております。逆に、宮城の大粒ミヤギシロメは、先月の価格よりも60kg/980円高くなっており、このほかにも、値上がりした銘柄もみられます。

今後の入札は、7月に2回、8月に1回の予定です。入札も終盤となってきましたので、お早めの手当てをおすすめ致します。

入札月	上場数量	落札数量	落札率
11月	575t	466t	81.0%
12月	4,730t	3,239t	68.5%
1月	12,031t	8,118t	67.5%
2月	13,844t	8,481t	61.3%
3月	14,802t	9,455t	63.9%
4月	14,676t	7,986t	54.4%
5月	14,446t	6,377t	44.1%
6月	12,455t	6,987t	56.1%
累計	87,559t	51,109t	58.4%

20年産大豆作付、収量とも増加

7月1日に国産大豆協議会が、農水省で開催され平成20年産の大豆生産計画が公表されました。それによると、コメの生産調整強化の影響で、20年産の大豆作付面積は、前年より3%増加して、14万3000haと見込まれました。また、収穫量も前年よりも6%増加して、約24万3000トンの見込みとなりました。

そのうち、全農の集荷分の作付面積見込は、約11万5000ha (前年比107%)、集荷見込は、約18万5000トン (前年比110%)とされました。特に、秋田、新潟、佐賀は、1割以上の作付面積増加が見込まれております。

また、全集連の集荷分の作付面積見込は、約3000ha (前年比110%)、集荷見込は、約7000トン (前年比121%)とされました。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



《 北米産大豆 》

‘08産大豆作付増加、GMOも増加

アメリカ農務省は、6/30に‘08年のアメリカ産大豆の作付予想面積を発表し、前年比17%増加の7453万エーカーとなりました。そして、収穫予想面積は、前年比15%増加の7212万エーカーとなりました。トウモロコシの作付予想面積は、逆に7%減少し、8733万エーカーとなりました。また、‘08年のGMO大豆予想作付比率は、92%（前年91%）と増加しました。

大豆相場は高値更新

6/30にアメリカ農務省が発表した期末在庫の減少懸念から、シカゴの大豆相場は、期近で16ドル5セントとなり、最高値を更新しました。その後も、タイトな需給から7/3には、期近で16ドル58セントとさらに高値となっております。天候、作況状況によっては17ドル台も、うかがえる状況となっております。



《 中国産大豆 》

‘08産大豆作付け状況（2008年6月）

中国でも2008年産の大豆作付けが始まりました。商社からの情報によると大豆の作付面積見込は、約950万ha（前年比113%）、生産量見込は、約1650万トン（前年比122%）とのことです。

現地の天候は、概ね晴天が続きましたが、乾燥状態を緩和する降雨が記録され、土壌水分が改善されました。しかし、一部地域では降雨が少ないため、土壌水分が十分とは言えない状況です。

背丈は20~30cmに達しており、昨年同時期と比べると高くなっております。枝分かれも順調に進み、既に開花している株もあります。これから開花のステージに入り、ますます天候から目が離せない状況です。



《 トピックス 》

弊社の平成20年産大豆契約栽培先である青森のJAつがるにしきた農協から播種作業の状況報告がありました。

6/5、金木地区では最も早く、播種、施肥作業をしているところです。品種は、オクシロメです。順調な生育を期待しております。



三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町 1-4-7 TEL 022-232-6151

URL: <http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>